

ヤングケアラーへの理解を深める
シンポジウム
報告書

令和4年(2022年)11月19日開催
山口県健康づくりセンター

山 口 県

～ 目 次 ～

実施概要	i
シンポジウム 進行記録	開会挨拶	1
	山口県健康福祉部こども・子育て応援局長 森光 淳子	
	第一部 行政説明	3
	「山口県のヤングケアラー支援の状況について」	
	山口県健康福祉部こども・子育て応援局 こども家庭課児童環境班長 長谷川崇朗	
	第二部 基調講演	21
	「知ることから始まる？ヤングケアラーへの支援」	
	西南学院大学人間科学部社会福祉学科教授 安部 計彦	
	第三部 支援者による事例発表	71
	やまぐち総合教育支援センター子どもと親のサポートセンター スクールソーシャルワーカー 中村幸一郎	
	母子生活支援施設沙羅の木特別生活指導員 加藤美和子	
	第四部 パネルディスカッション	95
	「ヤングケアラーへの気づきと支援」	
	《ファシリテーター》	
	山口県立大学社会福祉学部准教授 横山 順一	
	《パネリスト》	
	西南学院大学人間科学部教授 安部 計彦	
	山口県介護支援専門員協会副会長 橘 康彦	
	やまぐち総合教育支援センター 子どもと親のサポートセンター スクールソーシャルワーカー 中村幸一郎	
	母子生活支援施設沙羅の木特別生活指導員 加藤美和子	
	宇部市こども未来部こども政策課長 民谷 有弘	
	ヤングケアラー元当事者 Y	
パネル展示	131
アンケート 集 計	137

「ヤングケアラーへの理解を深める シンポジウム」の実施概要について

1 趣旨

本来、大人が担うような家事や家族の世話などを日常的に行うヤングケアラーを早期に把握し、適切な支援につなげていくため、ヤングケアラー支援について理解を深めるためのシンポジウムを開催する。

シンポジウムの内容は、ヤングケアラーの支援強化に向けた福祉・介護・医療・教育等関係機関の職員研修とともに、県民への理解促進を兼ねたものとする。

2 開催日時

令和4年（2022年）11月19日（土）
13：00～16：00

3 会場

山口県健康づくりセンター
（山口市吉敷下東三丁目1番1号）

4 対象

自治体・支援者団体・関係機関の職員
県民

5 参加者

会場参集 120人
オンライン視聴 100人

6 主催

山口県

7 プログラム

開会挨拶（13：00～13：05）

森光 淳子（山口県健康福祉部こども・子育て応援局 局長）

第一部 行政説明（13：05～13：20）

「山口県のヤングケアラー支援の状況について」

説明者：長谷川 崇朗

（山口県健康福祉部こども・子育て応援局こども家庭課児童環境班 班長）

第二部 基調講演（13：20～14：20）

「知ることから始まる？ ヤングケアラーへの支援」

講師：安部 計彦氏（西南学院大学人間科学部社会福祉学科 教授）



《講師略歴》

北九州市児童相談所で22年間勤務した後、2005年より現職。
社会福祉士、臨床心理士、博士（社会福祉学）。

児童福祉が専門で、厚生労働省「ヤングケアラーの実態に関する調査研究」の検討委員会構成委員（令和元年度調査研究では座長）を務めた。

第三部 支援者による事例発表（14：20～14：50）

《発表者》

中村 幸一郎氏（やまぐち総合教育支援センター 子どもと親のサポートセンター
スクールソーシャルワーカー）

加藤 美和子氏（母子生活支援施設沙羅の木 特別生活指導員）

第四部 パネルディスカッション（15：00～16：00）

「ヤングケアラーへの気づきと支援」

概要：ヤングケアラー支援における「見つける」
「つなぐ」「支える」の3つの視点を踏まえ
ながら、支援のあり方について議論する。

《ファシリテーター》

横山 順一氏（山口県立大学社会福祉学部 准教授）

《パネリスト》

安部 計彦氏（西南学院大学人間科学部 教授）

橘 康彦氏（山口県介護支援専門員協会 副会長）

中村 幸一郎氏（やまぐち総合教育支援センター 子どもと親のサポートセンター
スクールソーシャルワーカー）

加藤 美和子氏（母子生活支援施設沙羅の木 特別生活指導員）

民谷 有弘氏（宇部市こども未来部こども政策課 課長）

Y氏（ヤングケアラー元当事者）



8 パネル展示

【時間】 13:00～16:00

【会場】 山口県健康づくりセンター 多目的ホール

No.	名称	展示内容
1	曾根地区福祉の輪づくり運動 推進委員会	ヤングケアラー支援に取り組む団体の活動内容 の紹介
2	地域食堂ふらっと	
3	母子生活支援施設沙羅の木	
4	山口県	ヤングケアラーや児童虐待防止等に関するポス ターを展示



